

10
2016 | No.390



チーター
地上最速といわれるチーターの最高速度は時速110km。100mをわずか3~4秒で走る驚異的な加速能力を持つ。

JAPICNEWS

JAPIC 一般財団法人 日本医薬情報センター
Japan Pharmaceutical Information Center

Contents

巻頭言 「薬剤師の生涯学習と日本薬剤師研修センター」 公益財団法人 日本薬剤師研修センター 理事長 豊島 聡	2
インフォメーション 医薬品集 好評発売中! JAPIC「医療用医薬品集2017」CD-ROM付を8月29日に発刊しました JAPIC「一般用医薬品集2017」を9月1日に発刊しました 10月末発売! JAPIC「医療用・一般用医薬品集インストール版2016年10月版」 JAPIC「OTC医薬品CD-ROM 2016年10月版」 平成28年度下半期 学会等出展 について	4 4 5 5 6
トピックス JAPICでの実習を終えて JAPICサービスの紹介 保険請求の請求時の効率化、医薬品と病名のチェックに「医薬品と対応病名検索システム”病名ナビ”」	7 8
コラム 最近の話題「服薬指導からセルフメディケーションまで」 くすりの散歩道 No.101「気になる言葉」 外国政府等の医薬品・医療機器等の安全性に関する規制措置情報より-(抜粋) 図書館だよりNo.316 情報提供一覧	10 13 14 15

薬剤師の生涯学習と 日本薬剤師研修センター

公益財団法人 日本薬剤師研修センター 理事長
豊島 聡 (Toyoshima Satoshi)



薬剤師は、薬物療法の要として国民の健康と福祉に貢献する役割を担っています。しかしながら、医薬分業の急速な進展にともない、薬局の業務は調剤が中心になり、特に門前薬局のイメージから一般の薬局は調剤専門薬局と見られるようになってきました。医薬分業が進展する以前、薬局の数も少なかった時代、薬局は、街の健康相談所であり化学者でした。最近、国の方針として出てきているかかりつけ薬局、健康サポート薬局の考え方は、より進化した姿での昔の薬局への回帰であり、薬剤師の果たすべき役割をより明確にしたと思います。

ところで、かかりつけ薬局、健康サポート薬局の薬剤師として、国民に信頼され十分に職能を果たしていくためには、かかりつけ薬剤師の要件の一つに認定薬剤師であることが入っていることからわかるように、薬剤師は、生涯学習により自己研鑽に励むことが必須です。日本薬剤師研修センターは、優れた薬学的ケアを行なうことのできる薬剤師を求める社会的要請に応えるために、薬剤師の生涯学習を支援し推進することを目的として、平成元年（1989）年に当時の厚生省薬務局の認可のもとに設立された財団法人です。この目的のため当研修センターは、あらゆる職域において薬剤師が、自らの資質向上のために生涯を通じて常に新しい知識と技能を習得し、業務の充実に努めることができるように、各種研修会の開催、研修認定薬剤師の認定等の事業を行ない、生涯学習を支援しています。

以下には、生涯学習支援の特に重要なツールである研修認定薬剤師制度に絞って説明したいと思います。

1. 薬剤師の生涯学習と学習方法

1) 薬剤師の生涯学習

生涯学習の目標は、専門職倫理に則り、考え、評価し、正しく行動する能力（実務能力）を身に付けることです。これにより薬剤師は、地域医療の場でその専門性（職能）を発揮し、人々の健康の不安を取り除き信頼を得ることができるようになります。

ところで、薬剤師は、特定の分野だけに縛られず、幅広い医薬品の知識と経験を積んでいくことが必要ですから、

基本的にジェネラリストであると考えられます。近年、医療の専門化に伴い専門性の高い薬剤師が必要とされ、学会等の認定による専門薬剤師が誕生していますが、ジェネラリスト（研修認定薬剤師）としての医薬品の知識と経験は専門薬剤師となる前提になります。さらに、ジェネラリストとしての専門性を高めていくための生涯学習を継続するか、専門薬剤師としての生涯学習を行っていくかは、個々の薬剤師の目指す薬剤師像により異なりますが、研修認定薬剤師にあっても地域の状況にあった専門性の高い学習は必要となります。一方、専門薬剤師も必要な一般生涯研修を受講することは必要です。

2) 薬剤師の生涯学習の方法

生涯学習は、FIPで提案されたCPD（Continuing Professional Development）サイクルの考え方に従って行うことが適当と考えられます。CPDサイクルは、自己の責任で、生涯にわたり自己啓発を続け、専門職としての能力を保持し続けるための考え方です（継続的な専門能力開発）。サイクルに含まれる要素は「自己査定reflection」、「学習計画planning」、「学習の実行action」、「自己評価evaluation」の4要素で、そのステップは表1の通りです。CPDサイクルが回るごとに個々の薬剤師の現職能への対応能力の維持・向上、将来自分の志向する職能への対応能力獲得へと資質改善が続けられていきます。すなわちステップ1での自己診断結果に比べステップ5の自己診断結果では資質改善が図られているわけです。

表1. CPDサイクルのステップ

ステップ1：自己診断、研修すべき項目決定 （自己査定reflection）
ステップ2：研修計画の策定（学習計画planning）
ステップ3：研修の実施（学習の実行action）
ステップ4：研修内容の記録
ステップ5：自己評価（自己評価evaluation） ステップ1へもどる

2. 研修認定薬剤師制度

全職域の薬剤師の方々が自らの責任で、薬剤師免許を持つにふさわしい資質を維持するための生涯研修をバックアップし、その成果を客観的に認定するために研修認定薬剤師制度は設けられました。当研修センターでは、研修認定薬剤師制度以外にもいくつかの認定薬剤師制度のプロバイダーとなっています（漢方・生薬認定薬剤師制度、小児薬物療法認定薬剤師制度など）が、ここでは、ジェネラリストとしての薬剤師を対象とした「研修認定薬剤師制度」について説明します。

研修認定薬剤師は、1認定期間（新規4年以内、更新3年毎）に所定の単位を取得したと認定された薬剤師をいいます。認定されたことにより、他の医療従事者や患者からの信頼を高め、常に時代に即した薬学的ケアを行える薬剤師であることを示すためのものです。

研修認定薬剤師のもと学習する薬剤師にできるだけ多くの研修の機会を提供するため研修センターは、自ら研修会（座学の研修に加えe-ラーニング等も実施）を実施することに加え、2,019（平成28年3月31日現在）の研修会実施機関（団体等）を登録し、これらの機関が、平成27年度累計14,329件の集合研修を実施しています。

生涯学習は、個々の薬剤師が自発的に行うものであり、主体は学習者ですから、研修認定薬剤師制度のもとに行った学習の成果の評価は研修センターの定めた「薬剤師生涯学習の指標項目」に対する自己診断（表2の自己診断表を用いる）で行います。項目毎に業務上の必要度（A）と現状充足度（B）を数値化し、（A-B）の値をもとに次の学習計画を考えていき（CPD サイクル）ます。

近い将来、この自己診断用指標項目表は研修認定薬剤師の新規及び更新認定申請時に研修センターに提出してもらうことを検討しています。その内容が認定の可否に影響することはありませんが、研修センターとしてのアドバイスに利用したいと考えています。

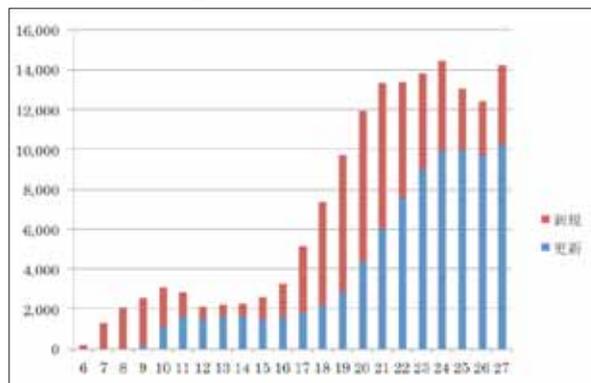
表2 薬剤師生涯研修の自己診断用指標項目表

薬剤師生涯研修の指標項目（自己診断用）		（日本薬剤師研修センター）		
◎本指標項目は、全職種にわたる薬剤師を対象とし、受講者が自ら研修すべき内容を選択・調整したり、あるいは研修した内容を整理・確認するときの目安として用いる。 ◎原則として受講による学習とするが、*印は一部実習あるいはロールプレイを含む。 ◎（A）には各項目に1～10点を記入（通常の必要度0点：総計75以上・100以下とする。（B）には0～5点を記入（通常の知識経験2点）総計50以下とする。（A-B）の値により相対的に重点を置くべき研修内容を自己判断する。				
【項目】	【研修内容の例】	業務上の必要度 (A)	現状充足度 (B)	自己学習計画 (A-B)
1 調剤	薬剤知識、調剤倫理、経歴所会、処方箋、臨床モニタリングと評価、調剤過誤（薬剤関連事故）、後発医薬品の使用促進、調剤安全管理（衛生、安全性、効率）			
2 製剤	薬局製剤、院内製剤、注射薬等調製、交付業務、滅菌法、無菌操作法*、中心静脈栄養*、経腸栄養、体液・電解質管理、製剤台帳、製剤記録（管理）			
3 処方解析	処方科野全般、症例検討、代表的疾患と薬物療法、薬物-妊娠（授乳給）、薬物-高齢者、薬物-小児（衛生）、TDM（応用）*			
4 副作用	薬症機序、症状、対応法、過量投与・薬物中毒、副作用報告、副作用とその初期症状			
5 相互作用	相互作用と薬物-薬物、薬物-病態、薬物-食物、薬物-嗜好品			
6 医療一般	倫理、医療過誤、治療、QOL、病態と疾患、疫学、実務手帳、臨床検査値、薬剤経済学			
7 DI・情報	DI全般、情報源（添付文書・患者・医療従事者）、新薬情報、医薬用語・表現、薬剤理学、生物統計学、適正使用心			

ところで、年度ごとの研修認定薬剤師認定証発行数（研修認定薬剤師数）の推移は、図1のとおりですが、平成18年から24年にかけて急激に増加しています。これは、薬学教育が、4年制から6年制へと移行することに伴うものと考えられます。6年制薬剤師の誕生に伴い平成25年度、26年度には新規申請がかなり減少しました。し

かし、平成27年度は新規申請が増加し、平成28年3月31日現在の研修認定薬剤師総数は、40,202名となっています。平成27年度に新規申請が増加した理由は、かかりつけ薬剤師の算定要件の一つに「研修認定薬剤師であること」が入ったためと考えられます。さらに、昨年暮れから今年初めにかけて研修認定薬剤師の単位取得に必要な研修手帳の送付依頼数が大幅に増加していますので、今年度も新規申請は増えると考えられます。研修認定薬剤師の増加は望ましいことですが、一過性に認定薬剤師となっても意味がありません。薬剤師は、少なくとも実務に関わっている間、常に学習を続けていかなければならないことを意識してほしいと思います。

図1 年度ごとの研修認定薬剤師認定証発行数（研修認定薬剤師数）の推移



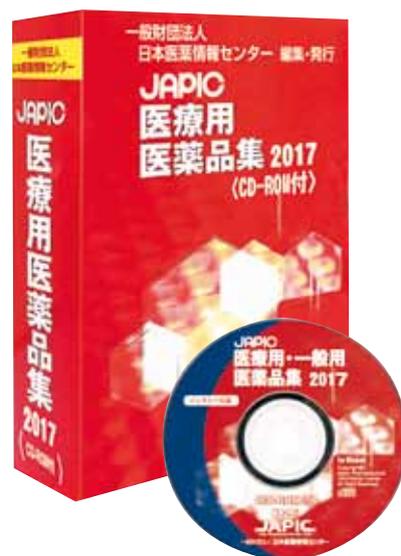
3. 薬剤師生涯学習達成度確認試験

前述のように、研修認定薬剤師として認定されたことにより、他の医療従事者や患者からの信頼を高め、常に時代に即した薬学的ケアを行える薬剤師であることが示されるはずですが、既存の薬剤師の生涯学習に関する認定制度での認定は「当該薬剤師が必要な業務全般に精通していること」を対外的に示すためには不十分と考えられます。そのため、自己研鑽・努力により薬剤師として必要な業務全般に精通し、十分な職能を有し、求められている変革に率先して取り組んでいける薬剤師を選び出すとともに選び出された薬剤師を社会的に明示することで、より職能を果たしやすくする仕組みが必要と考えられました。そこで、「選び出されたことを社会的に明示できる評価組織によって個々人により全く異なる学習成果の程度を評価するための客観的判断基準としての試験制度」が、薬剤師関連の学会（日本医療薬学会、日本薬学会）と職能団体（日本病院薬剤師会、日本薬剤師会）及び日本薬剤師研修センターにより企画され、本年7月31日「第1回薬剤師生涯学習達成度確認試験」として実施されました。本年度は全国7カ所の試験場で1,000人強の薬剤師が受験しました。合格の結果はまだ、明らかになっていませんが、試験の難易度は高いと思われます（試験問題は回収されますので、受験者以外難易度は判断できませんが）ので、合格した薬剤師は、自信をもって薬剤師職能を果たしてほしいと思います。

医薬品集 好評発売中!

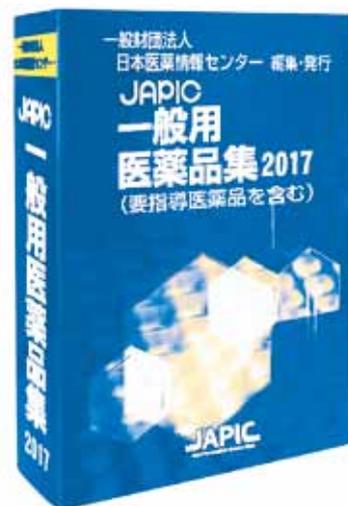
JAPIC「医療用医薬品集2017」CD-ROM付を8月29日に発刊しました

- ◇6月17日付の後発品薬価収載、6月20日付の効能追加等を含む、7月1日入手分までの情報を収載(約21,000製品)。
 - ◇医療用医薬品添付文書情報を有効成分(約2,200成分)ごとにまとめて掲載。約1,400成分については「構造式」も掲載。
 - ◇同一成分内での剤形の違い・製品の違いにより効能・効果が異なる場合はその違いを明記。
 - ◇今回より、3分冊(分冊1:五十音索引+本文前半、分冊2:五十音索引+本文後半、分冊3:その他索引+付録+薬剤識別コード一覧)でのご提供。
- ◆価格: ¥13,000(+税)・B5判



JAPIC「一般用医薬品集2017」を9月1日に発刊しました

- ◇国内流通の一般用医薬品をほぼ全て網羅(約11,000製品収録)。
「要指導医薬品」(スイッチ直後品目・劇薬等)も掲載しています。
 - ◇最新の添付文書を日本製薬団体連合会の委託を受け収集。
 - ◇付録には、重篤副作用疾患別対応マニュアル、国内副作用報告の状況、セルフメディケーション税制(医療費控除の特例)対象品目一覧、リスク区分情報等を収録。
- ◆価格: ¥9,000(+税)・B5判



[お問合せ先:事務局業務・渉外担当 TEL:0120-181-276、FAX:0120-181-461]

10月末発売!

JAPIC「医療用・一般用医薬品集インストール版2016年10月版」

- ◇医療用および一般用医薬品の添付文書情報を収録したWindows対応CD-ROM。
(医療用は2016年10月、一般用は2016年9月までのJAPIC入手分を収録)
- ◇製品情報、医薬品集本文データの検索・表示・印刷・データ出力が可能。データ出力形式は、タブ区切り/カンマ区切りテキスト(csv)から選択できます。
- ◇薬価、先発品等/後発品情報、規制区分、剤形、添加物、
薬剤識別コード情報なども収録し、さまざまな角度から検索できます。
- ◇完全インストール仕様により、スピーディな検索・結果表示を実現。
インターネット環境のない薬剤モニタリング業務などにも最適です。
- ◇インターネット経由で、最新の添付文書PDFの表示も可能です。
(医療用:週1回更新、一般用:月1回更新)
- ◆価格:単回¥13,000(+税)。
年間セット4枚(10月・1月・4月・7月) ¥23,806(+税)。



JAPIC「OTC医薬品CD-ROM 2016年10月版」

- ◇一般用医薬品(一部の医薬部外品含む)の添付文書記載情報(2016年9月までのJAPIC入手分)を収録したWindows対応CD-ROM。
- ◇一般用医薬品データの検索・表示・印刷・テキストデータ出力が可能。
- ◇「要指導医薬品」(スイッチ直後品目・劇薬等)も掲載しております。
- ◇検索項目は、成分名、添加物、リスク区分や小児に使える医薬品等。
- ◇インターネット経由で、添付文書PDFの表示も可能です。
- ◇JANコードによる製品直接表示機能も搭載。
- ◆価格:単回¥3,000(+税)。



[お問合せ先:事務局業務・渉外担当 TEL:0120-181-276、FAX:0120-181-461]

平成28年度下半期 学会等出展 について

平成28年度 下半期（平成28年10月～平成29年3月）は下記学会に出展いたします。

大会名	期間	開催地
第49回日本薬剤師会学術総会大会	10月 9日～10月10日	名古屋国際会議場
第22回日本薬剤疫学学会学術総会	11月18日～11月20日	みやこめッセ
第36回医療情報学連合大会	11月21日～11月24日	パシフィコ横浜

なお、展示内容としましては、主に以下のものを予定しております。

●医薬品と対応病名検索システム（病名ナビ）

医療用医薬品添付文書の「効能効果」に対応する「標準病名」を関連付け、相互に検索するものです。処方薬に対応するICD10対応電子カルテ用標準病名の選択や、レセプトの病名チェック等にご利用いただけます。

●院内採用医薬品集作成システム JAPIC PIA

院内採用医薬品集を病院内で、低コスト、MS-wordで簡単に作成できます。また、院内LAN上での採用薬添付文書情報の閲覧・持参薬から同一成分薬の検索が可能です。

●JADER解析サービス

医薬品医療機器総合機構（PMDA）の医薬品医療機器情報提供ホームページから公開されている「副作用が疑われる症例報告」データをもとに、ご要望に応じた調査・解析等を行い、結果を提供するサービスです。

その他にも、赤ジャビの名で親しまれているJAPIC 医療用医薬品集を始めとした出版物や、どなたでもご利用いただける医薬品情報データベース（iyakuSearch）など、JAPICが提供しているサービスのご紹介をさせていただきます。

お出かけの際は是非お立ち寄りください。

JAPICでの実習を終えて

JAPICでは、薬学・医療系大学や図書館情報学系大学からのご依頼を受け、夏休み期間中の学生を実習生として受け入れております。今年は薬学系大学2校から4名、図書館情報学系大学1校から2名、計6名の実習生を受け入れ、2週間にわたって実務実習に取り組んでいただきました。実習で学んだことを生かし、より充実した学生生活を送っていただけたら幸いです。

2名の実習生から、実習を終えての感想をいただきましたので、ご紹介します。

▶ 筑波大学 情報学群 知識情報・図書館学類 3年 陳 新楠

今回、JAPICで初めて実習でお世話になったのですが、9日間本当にたくさん学ばせていただきました。1日1日が充実していて、作業が多い実習となりました。JAPICで医薬品に関する情報を集め、処理、提供までの流れや準備する作業を理解することが今回の目標でした。

過去に発生した薬害事件についてのDVDを観ました。正しくて、最新な情報を伝えることが、最も重要だと思いました。

また、作業の途中で、自分が理解できていなかった事、分からなかった事を改めて知る事ができ、自分には何が足りなかったのか気付くことができました。そして、一緒に作業される方同士のコミュニケーションがよく取れていてチームワークをすごく大切にされているなと思いました。自分はまだ日本語コミュニケーションが少し苦手なのですが、明るい職員さん達から声をかけてもらうのはうれしかったです。

他にもたくさんありますが、JAPICで学んだ事を自分の研究で生かしていきたいです。勉強になる日々でした。貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

▶ 筑波大学 情報学群 知識情報・図書館学類 3年 中村 美咲

私たちはJAPICが深く関わる「情報」そのものの扱いを専門とした図書館情報学の分野を学んでいます。整理された医薬情報を提供するためには、信頼された情報源からの収集や適切な識別・蓄積が不可欠です。そのプロセスに図書館情報学が大きく関わっています。「専門知識を扱う機関は、専門知識だけわかっているだけでいい」というわけではありません。これは薬学に限った話ではなく、各分野の専門機関に言えることであり、同時に一番行動しなければならない図書館情報学分野への警鐘でもあると思います。

その専門職員を置く附属図書館での実習は大変貴重な機会となり、実務を伴った多くの体験を通して、公共図書館とも学校・大学図書館とも異なる、専門機関での図書館情報学の有益さや課題を知ることができました。また附属図書館だけではなく各部門でも業務を体験させていただき、医薬情報提供までの一連の流れを概観することで、実地での「専門情報」というものの扱いを知ることができました。

最後に、実習中お世話になりました職員の皆さまに、深く感謝を申し上げます。

❖ JAPICサービスの紹介 ❖

■ 保険請求の請求時の効率化、医薬品と病名のチェックに! “医薬品と対応病名検索システム”病名ナビ”

本検索サービスは、添付文書の効能効果に対応する標準病名を一覧で参照できるものです。対応する標準病名を「医薬品名」から検索、もしくは対応する効能効果をもつ医薬品名を「病名」から検索するなど、双方向の検索が可能です。

医薬品の効能効果と標準病名の対応の妥当性（評価）は「◎、○、△、×」で表示しており、処方薬に対応する標準病名の選択の際に参考となります。

保険請求の請求時の効率化、医薬品と病名のチェックに是非ご活用下さい。

【評価（◎、○、△、×）について】

添付文書「効能効果」と標準病名の対応の妥当性については、専門医師、薬剤師による評価を元にランク付けしております。

◎：妥当性が最も高い / ○：妥当とする / △：妥当性に判断を要する / ×：関連はあるが妥当性を欠く

【特長】

- ◆ 医療用医薬品約21,500品目の効能効果に対応するICD10対応電子カルテ用標準病名（約16,500）を関連付け
- ◆ 標準病名は同義・慣用病名からも検索可能（採用同義・慣用病名約35,000。合計約51,500病名。）
- ◆ 完全に独立したシステム。現在ご使用中のシステムにも導入可能
- ◆ 最新添付文書（PDFファイル）を瞬時に表示
- ◆ 医薬品のレセ電算コード、病名のレセ電算コード付き
- ◆ 主要な情報を網羅：商品名、一般名、規格単位、薬価、会社名、薬効番号、効能効果、標準病名、ICD10、評価、レセ電算コード、用法用量、警告、禁忌等
- ◆ データは毎月更新

【利用方法・料金】（料金はいずれも税別）

○医療機関個人利用システム（Web版）

【データ使用料】1ユーザ：1,600円／月

○院内共同利用システム（LAN版）

【初期導入費用】 100,000円

【データ使用料】 病院200床以上 21,000円／月。 病院200床未満 9,000円／月

※ 特許取得：特許第4516809号（H22.5.21）、特許第5135080号（H24.11.16）

お問合せ先：業務・渉外担当0120-181-276

● 検索イメージ

①商品名入力：(例) タケプロン



②該当製品リスト



③(例) タケプロンOD錠の標準病名



最近の話題

「服薬指導からセルフメデイケーションまで」

いわき明星大学薬学部薬学科 富岡 節子 (Tomioka Setsuko)



薬局薬剤師として服薬指導は当然のこととして定着していますが、これは、最近にいわれるセルフメデイケーションの前に、確実にやっていかなければならないものと改めて思い起こしています。

薬局でノンコンプライアンスの患者様方とお話する機会がしばしばあります。その原因は様々です。次にそのいくつかのエピソードをご紹介します。

「ビール飲まなければならない時は、薬は飲まないようにしています。お酒と薬が一緒ではまずいと思って。」

この方はここ数年、高尿酸血症で尿酸生成阻害薬を服用している患者さんでした。数回の痛風発作も経験しておりました。十分、ビールが自分にはいけなものだと自覚がありました。このような状況下で、服薬をスキップしてしまうことは、さらに病状悪化へと向かうことが予想されます。発作を繰り返すのもこのためかと考えます。

「主人がインスリン注射をしており、低血糖のため救急車で緊急入院したことがあります。」

この方は、ご夫婦が共に糖尿病で、インスリン治療をされていました。ご主人が入院されたことから、インスリン注射への不安を持つようになり、投与を中止しておりました。この結果、血糖値は高値を維持してしまい、まったく良くなりませんでした。

「高血圧の薬を3種類もらっているのですが、朝食後となっているので、ほとんど飲めません。私、なかなか朝食が取れなくて。」

服薬の用法については、多くが食事を目安として、朝食後、朝食前、食間などと記載されます。服用タイミングが本当に食後でなければならないのは、薬剤のなかでも限定されており、ほとんどの薬はその時間帯に飲んでくださいという指示と考えます。1日1回の薬には朝食後、1日2回のもは朝夕食後、1日3回のもは朝昼夕食後とありま

すが、食事をしなくても多くの薬が服用できます。食事にこだわる薬といえば、糖尿病用薬や胆汁が必要なイコサペント酸エチルなどでしょう。食事にこだわって、高血圧の薬が飲めなかったこの患者様は、血圧が高いまま改善が認められませんでした。

「痛い時に飲むようにとこの痛み止めの薬をいただきましたが、食欲がなくて飲めなくて困っています。」

消炎鎮痛薬が頓用で出されることが多いですが、たまに服用する場合、消化管への影響は少ないと考えられます。慢性疼痛で長期服用の場合とは異なると考えます。患者様は痛み止めとは胃を荒らす薬剤だから、必ず食事をしてからでないと飲めないと思いこんでいました。

「食直前と食後と寝る前の薬をもらっています。1日に朝食直前・朝食後・昼食直前・昼食後・夕食直前・夕食後・寝る前と7回も薬の時間があります。だから、うっかり飲み忘れが多いです。特に、食前が飲めないことが多いです。」

糖尿病の患者様の場合、薬と食事のタイミングが重要になります。しかしながら、1日7回の服薬タイミングはかなりのへんであることも理解できます。多くの場合、食後の薬を食直前にできます。1日7回の服薬が1日4回になれば、ずっと楽になるはずですが、食直前の薬のタイミングは変えることができないため、食直前に薬を飲み、食事をするという習慣をつけていただければよいでしょう。

これらのケースのように、せっかく処方された薬が、正しく飲まれていないために病態が改善しないことがあります。しっかりした処方が出ているにもかかわらず、病状が不変もしくは悪化というときは、ノンコンプライアンスの可能性もあります。そこに、まず気付けるのは薬局薬剤師と考えております。「おクスリ飲めない時ありますか?」と何気なく問いかけて、悩みをお聞きする中に解決策が隠されています。

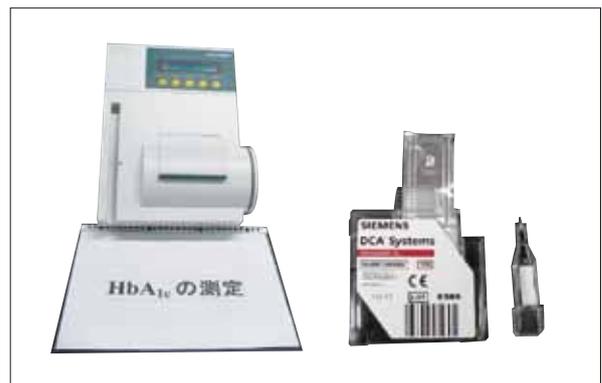
2013年、「日本再興戦略」では、「薬局を地域に密着した健康情報の拠点として、一般用医薬品等の適正な使用に関する助言や健康に関する相談、情報提供を行う等、セルフメディケーションの推進のために薬局・薬剤師の活動を促進する」とされました。

これより、薬局は国民の健康を守る、身近な存在としてのポジションが渡されました。

セルフメディケーションとは、「自分自身の健康に責任を持ち、軽度の身体の不調は、自分で手当てすること」とWHOから2000年に説明されています。一方、高齢化が進み、健康寿命をいかに延ばすかが現在の医療全般の課題と考えます。そこで、医療従事者のみならず、一般の方々にも自己の不調への気付きが必要となりました。また、より早期に不調の発見もしなければなりません。そのためには、不調を明らかに自覚できるより前に知ること、生活習慣病、いわゆる症状のない病気の予防が不可欠です。薬局には検体測定室が設置できるようになりました。ここでは、消費者自らが、血圧、血糖値、HbA_{1c}、LDLコレステロール、HDLコレステロール、トリグリセリドから高血圧・糖尿病・脂質異常症を知るきっかけとなります。また、ALT、AST、 γ -GTP、血清クレアチニンから肝機能・腎機能の状態がわかります。もちろん、これらはすべて、簡易測定器の結果であるため、病院における検査をしなければ確定診断には至りません。しかしながら、病院に行く前にこれらのことに気付けることは画期的なことと思います。それも、微量な血液で測定可能であるため、人体への侵襲も軽微です。社会で仕事をもっている場合、年に一度の健康診断が義務付けられていますが、専業主婦や定年後の場合、自主的に健康診断に行かなければなりません。もし、近くの薬局で、自分の体の状態を知り、予備群と思った時、その場で治療薬を求めることができ、生活習慣の改善に努めれば、自己健康管理は日常的なものになるはずです。



小型臨床化学検査装置BBx



HbA_{1c}簡易測定器

薬局の薬剤師は簡易測定器を置く傍ら、受診勧奨をしなければなりません。そこで、薬剤師は検査結果を読むことはないにしても、知らないということはないでしょう。さらに、検査のタイミングや測定器の取扱いにおける注意事項についても知らなければなりません。例えば、血圧の場合、各血圧計により、血圧値の差が認められることがありますが、家庭血圧の場合、いつも起床時に測定をするなら、個人の血圧の変化を知ることは可能です。同じ時間帯に条件を揃えて測定することで、昨日と今日、先月と今月の変動を捉える事ができます。血糖値の場合、朝昼夕の時間帯や食事内容、また、体調が良好な時や風邪などをひき不良な時による変化を詳細に知ることができます。消費者や患者様が自身の体調を診る際、より良い観察の仕方をアドバイスしていかなければならないでしょう。血糖測定器も以前は1万円程度でしたが、最近では、5千円程で購入できる、小型のも

のが登場しました。少し血糖値が気になる方にお勧めできるものと思います。



血糖測定器 トゥルーピコ

次に、セルフメディケーションのひとつとして、一般用医薬品、いわゆるOTC薬や健康食品・サプリメントの使用に対し適切なアドバイスをするのが薬剤師に求められています。これらを使用し、改善が認められない場合、速やかに適切な医療機関に紹介することが重要です。この機会を逃して、患者様に健康被害が及ぶ事は避けなければなりません。

患者様や消費者の体調の観察からOTC薬や健康食品・サプリメントのアドバイスまでの一連の仕事には、しっかりと薬剤師の資質は確保されなければなりません。

また、OTC薬で力を発揮しているのが、漢方薬です。漢方薬は一剤の中に多種多様な生薬が組み合わせられており、使い慣れていないと戸惑うことがしばしばあるのではないのでしょうか。漢方薬はゆっくり効果をもたらすものとばかり思い込んでいた私でしたが、足が痙攣した時に服用する、芍薬甘草湯が速効性のあることに、自分で使用して、驚いています。知人の中には、痔の手術直前にダメ元で服用した乙字湯が、ぴったりに効いて、手術しないで治癒してしまったというケースがありました。その漢方はその症例に合ったなら、すぐれた可能性があるのだと実感しました。私は糖尿病療養指導士として病院で服薬指

導していた時、患者様から、多くの健康食品・サプリメントの質問を受けました。そこで、日本臨床栄養協会のサプリメントアドバイザーの認定を取得いたしました。以前と比べ、少しだけ自信を持って消費者の方々に説明できるようになったと思っております。次は漢方にチャレンジしようかと思ひ、ただいま学修中です。

さて、私は現在、薬学部の教員をしており、大学教育がセルフメディケーションに対し、どのような教育を展開しているかについて述べたいと思います。

実務実習を修了した5年生は、クリニカルケーススタディーという科目があります。クリニカルケーススタディーは4年生までに学んだ、病理学、解剖学、臨床検査学、薬理学、薬物治療学、薬剤学などの集大成です。毎時間、ひとつの症例が提示され、その症例の初期症状から、病態を予測し、検討していくことから始まります。いわゆる、症候学です。病態が特定されたなら、次に、薬物治療について薬歴をみて、現在処方されている薬の適正をみていきます。必要な薬であるか否か、腎機能・肝機能・心機能に対応しているのか、副作用は出現していないか、など1剤ずつ調べていきます。そして、適正でない薬剤は、何に変更すべきなのかを考えます。さらに、これからの薬物治療計画を考えます。それらの症例解析を通して、現実に出会った患者様に応用していけるよう願っています。そして、今、臨床現場で必要とされている資質を持ち合わせた薬剤師として、成長していけるよう願っています。その基盤は大学で養成したと、近い将来に確信したいと思います。

これからの日本国民の健康は、薬局にあって、そこにいる薬剤師の力に任されていると考えていくべきでしょう。そのためには、薬剤師は、日々研鑽し、刻々と拡がる薬物治療の可能性を追い続けて、自分のものにしていくことが求められているのでしょう。

くすりの散歩道 NO.101

気になる言葉

(一財)日本医薬情報センター 医薬文献情報担当
市原 有里 (Ichihara Yuri)



2016年8月、ブラジルリオデジャネイロにおいて南米大陸初のオリンピックが開催されたことは、まだ記憶に新しいところであろうか。開催前からジカ熱の流行、ロシアの国家ぐるみのドーピング問題、競技施設の建設の遅れ等と話題に事欠かなかった。しかし、始まってみると多くのアスリートからどれ程の勇氣と元氣、感動をもたらしたことだろう。特に今大会では、団体戦における日本の躍進が目覚ましかったのではないだろうか。体操男子団体の金メダルに始まり、競泳男子4×200mリレーの銅、シンクロナイズドスイミングデュエット、チームともに銅、卓球においては女子で銅、男子が銀、バドミントン女子ダブルスでは金、そして陸上男子4×100mリレーの銀……。個人戦についてはもはや挙げたら切りがないほど連日連夜その雄姿に釘付けとなった。

そしていつも思うことがある。オリンピックに限らずアスリートたちのメンタルの強さ、こころの勝負どころでプレッシャーの中で自身の力を出し切れる強靱な精神力を。

即思い浮かぶのが、イチロー選手、五郎丸選手に代表される「ルーティン」。イチロー選手のバッターボックスに入る前からの一連の「型」は有名であるが、1日を通して自身がコントロールできる行為をルーティン化している。これにより心技体を突き詰め、常に安定した結果を生み出した積み重ねが数々の偉業である。また、2年前の全米オープンテニス、錦織選手の準優勝で日本中が沸いたころ、敗れたジョコビッチ選手が「マインドフルネス」を高めることをトレーニングに取り入れているということを知り気になっていた。

この「マインドフルネス」なるもの、マインドフルネスストレス低減法 (MBSR)、マインドフルネス認知療法、マインドフルネス瞑想等、認知療法の中で見られる言葉だった。心理学大辞典では、「個人の内なる状態や周囲の状態に最大限覚醒していること」「破局的で自動的な習慣から離れた思考、情動、「いまここ」での体験を判断や反発なく受け入れること」とある。注意散漫の対局はマインドフルネスで、いまの瞬間に集中しながらも現在を評価したり、感情的に反応したりしてはいない心的モードを指すそうだ。一言でいえば「今に意識を集中すること」となる。

誕生の歴史を紐解けば、起源は東洋文化に辿ることができる。第二次世界大戦後に欧米で東洋哲学への関心が高まり、瞑想などの観念が文化の主流に持ち込まれた。瞑想の医学的な効能が米国の生物学者にして心理学者のJon Kabat-Zinnの関心を惹き、彼はMBSRアプローチの先駆的存在となり最初の臨床応用を実施した。1985年Zinnらは慢性疼痛患者90例に8週間のMBSRプログラム (認知療法に瞑想を統合したもの) を施行、その前後で痛みとネガティブな気分、不安の度合いを測定した。結果、これらの症状はプログラム終了後に有意に軽減し、さらにその効果は最長15カ月持続したという。さらに心理学者J.David Creswellの研究では、マインドフルネス訓練によって炎症促進性タンパク質の血中濃度が低下したそうだ。これは狼瘡や関節リウマチなどの炎症性疾患のリスクを下げる可能性を示唆するという。他にも多くの論文にマインドフルになるための訓練により心理的ストレスが減り、心身両面の健康が増進し、抑うつや不安、慢性疼痛が緩和することによって示されているそうだ。現在、世界各地の医療機関で気分障害などの疾患向けにマインドフルネスに基づく治療を提供しているという。

そして、臨床現場に留まらず、アスリートたちのパフォーマンス向上のために取り組まれているだけでなく、多くの企業においても心身の健康維持増進のために活用されている。心身を「マインドフルネス」によってよりよく調整できるのならば、これもまた人体のもつ自然治癒力のような不思議でもあり、是非実践を試みたいと、アスリートたちに感動しながら思った夏であった。

- ・「プロフェッショナルの習慣力」 トップアスリートが実践する「ルーティン」の秘密 森本貴義 ソフトバンク新書 2013
- ・「APA心理学大辞典」 監修 G.R.ファンデスポス 培風館 2013 p841
- ・「心理学大図鑑」 キャサリン・コーリン他 三省堂 2013 p200, 210
- ・別冊日経サイエンス 「心を探る 記憶と知覚の脳科学」 日経サイエンス社 2015 p121~135

外国政府等の医薬品・医療機器等の 安全性に関する規制措置情報より — (抜粋)

2016年8月1日～8月31日分のJAPIC WEEKLY NEWS (No.562-565)の記事から抜粋

■米FDA

- 全身投与用fluoroquinolone系抗菌薬のDrug Safety Communication: 障害をもたらす副作用による警告の更新
<<http://www.fda.gov/Safety/MedWatch/SafetyInformation/SafetyAlertsforHumanMedicalProducts/ucm513065.htm>>
- 米FDAは、フランスの治験薬BIA 10-2474に関連する、米国での試験中の薬剤において類似の安全性リスクを及ぼさないことを確認
<<http://www.fda.gov/Drugs/DrugSafety/ucm482740.htm>>

■Health Canada

- Summary Safety Review: KOGENATE FS/HELIXATE FS (antihemophilic factor[recombinant]) — 治療歴の無い重度の血友病A患者におけるインヒビター産生についてのリスクの変化に関する評価
<<http://www.hc-sc.gc.ca/dhp-mps/medeff/reviews-examens/kogenate-helixate-eng.php>>
- Summary Safety Review: codeine含有製品—小児および青年における重篤な呼吸障害リスクのさらなる評価
<<http://www.hc-sc.gc.ca/dhp-mps/medeff/reviews-examens/codeine2-eng.php>>
- Summary Safety Review: hydrocodone含有製品—小児および青年における重篤な呼吸障害(呼吸抑制)のリスク評価
<<http://www.hc-sc.gc.ca/dhp-mps/medeff/reviews-examens/hydrocodone-eng.php>>
- Summary Safety Review: ENBREL (etanercept) — ENBRELによる治療を受けた母親の発育中の胎児に対する潜在的な有害性の評価
<<http://www.hc-sc.gc.ca/dhp-mps/medeff/reviews-examens/enbrel2-eng.php>>
- Summary Safety Review: YONDELIS (trabectedin) — 微小血管からの体液漏出(毛細血管漏出症候群)の潜在的なリスク評価
<<http://www.hc-sc.gc.ca/dhp-mps/medeff/reviews-examens/yondelis-eng.php>>
- Summary Safety Review: Propecia (finasteride 1mg) およびProscar (finasteride 5mg) — 痙攣発作の潜在的リスクに関する評価
<<http://www.hc-sc.gc.ca/dhp-mps/medeff/reviews-examens/finasteride2-eng.php>>
- Summary Safety Review: ホルモン補充療法 (estrogensおよび/またはprogestogens) および選択的エストロゲン受容体モジュレーター (SERMs) — 卵巣癌の潜在的リスクに関する評価
<<http://www.hc-sc.gc.ca/dhp-mps/medeff/reviews-examens/hormon-eng.php>>
- Summary Safety Review: 抗うつ剤—重篤な眼障害(閉塞隅角緑内障)の潜在的リスクに関する評価
<<http://www.hc-sc.gc.ca/dhp-mps/medeff/reviews-examens/antidepress-eng.php>>
- Summary Safety Review: INTUNIV XR (guanfacine hydrochloride) — レイノー現象の潜在的リスクに関する評価
<<http://www.hc-sc.gc.ca/dhp-mps/medeff/reviews-examens/intuniv-eng.php>>
- Summary Safety Review: Trifecta—心臓弁—早期摩耗の潜在的リスクの評価
<<http://www.hc-sc.gc.ca/dhp-mps/medeff/reviews-examens/trifecta-eng.php>>
- Summary Safety Review: 非定型抗精神病薬—睡眠時無呼吸の潜在的リスクに関する評価
<<http://www.hc-sc.gc.ca/dhp-mps/medeff/reviews-examens/antipsycho2-eng.php>>

■仏ANSM

- Colchicine Opocalcium 1mgおよびColchimax (colchicine) : 重篤な過量投与のリスクを低減するための適正使用に関する再注意喚起—医療専門家向けレター
<<http://www.anism.sante.fr/S-informer/Informations-de-securite-Lettres-aux-professionnels-de-sante/Colchicine-Opocalcium-R-1-mg-et-Colchimax-R-rappel-des-regles-de-bon-usage-pour-limiter-les-risques-de-surdosages-graves-Lettre-aux-professionnels-de-sante>>
- Hemoleven (ヒト凝固第XI因子) : 血栓塞栓症リスク低減のための適正使用について—医療専門家向けレター
<<http://www.anism.sante.fr/S-informer/Informations-de-securite-Lettres-aux-professionnels-de-sante/Hemoleven-R-facteur-XI-de-coagulation-humain-information-sur-le-bon-usage-pour-reduire-les-risques-d-evenements-thromboemboliques-Lettre-aux-professionnels-de-sante>>

JAPIC事業部門 医薬文献情報(海外)担当

記事詳細およびその他の記事については、JAPIC Daily Mail (有料) もしくはJAPIC WEEKLY NEWS (無料) のサービスをご利用ください (JAPICホームページのサービス紹介: <<http://www.japic.or.jp/service/>> 参照)。JAPIC WEEKLY NEWSサービス提供をご希望の医療機関・大学の方は、事務局業務・渉外担当 (TEL 0120-181-276) までご連絡ください。

【新着資料案内 平成28年8月1日～平成28年8月31日受け入れ】

図書館で受け入れた書籍をご紹介します。この情報は附属図書館の蔵書検索 (<http://www.japic.or.jp/iyaku/index.html>) の図書新着案内でもご覧いただけます。これらの書籍をご購入される場合は、直接出版社へお問い合わせください。閲覧をご希望の場合は、JAPIC附属図書館 (TEL 03-5466-1827) までお越しください。

〈配列は洋書、和書別に書名のアルファベット順、五十音順〉

書名	著編者	出版者	出版年月
European Pharmacopoeia 9.0		Council of Europe	2016年7月
JAPIC 一般用医薬品集 2017	一般財団法人 日本医薬情報センター	一般財団法人 日本医薬情報センター	2016年9月
JAPIC 医療用医薬品集2017	一般財団法人 日本医薬情報センター	一般財団法人 日本医薬情報センター	2016年8月
JAPIC 医療用医薬品集 2017 薬剤識別コード一覧	一般財団法人 日本医薬情報センター	一般財団法人 日本医薬情報センター	2016年8月
医療機器承認便覧<平成27年版>		薬務公報社	2016年6月
周産期学シンポジウム抄録集 No.34	日本周産期・新生児医学会周産期学シンポジウム運営委員会 編	メジカルビュー社	2016年9月
第十七改正日本薬局方	厚生労働省	厚生労働省	2016年3月
腸内フローラのダイナリズム-代謝産物の生理と病態-(腸内フローラシンポジウム24)	神谷茂 編	公益財団法人ヤクルト・バイオサイエンス研究財団	2016年8月
平成28年度版薬事法令ハンドブック-医薬品医療機器等法、施行令、施行規則-		薬事日報社	2016年6月
薬事法令ハンドブック 承認許可基準省令 第8版		薬事日報社	2016年6月
適応・用法付 薬剤別薬価基準 保険薬事典 Plus+ 平成28年8月版	薬業研究会 編	株式会社じほう	2016年8月

情報提供一覧

【平成28年9月1日～9月30日提供】

出版物がお手許に届いていない場合、宛先変更の場合は当センター事務局 業務・渉外担当 (TEL 03-5466-1812) までお知らせください。

情報提供一覧	発行日等	JAPIC作成の医薬品情報データベース	更新日
〈出版物・CD-ROM等〉		〈iyakuSearch〉 Free	http://database.japic.or.jp/
1. 「添付文書入手一覧」2016年8月分 (HP定期更新情報掲載)	9月1日	1. 医薬文献情報	月 1 回
2. 「一般用医薬品 (経済課コード)」2016年8月分 (HP定期更新情報掲載)	9月1日	2. 学会演題情報	月 1 回
3. 「JAPIC NEWS」No.390 10月号	9月30日	3. 医療用医薬品添付文書情報	毎 週
〈医薬品安全性情報・感染症情報・速報サービス等〉 (FAX、郵送、電子メール等で提供)		4. 一般用医薬品添付文書情報	月 1 回
1. 「JAPIC Pharma Report海外医薬情報速報」 No.1047-1051 (旧: 医薬関連情報速報FAXサービス)	毎 週	5. 臨床試験情報	随 時
2. 「医薬文献・学会情報速報サービス (JAPIC-Qサービス)」	毎 週	6. 日本の新薬	随 時
3. 「JAPIC-Q Plusサービス」	毎月第一水曜日	7. 学会開催情報	月 2 回
4. 「外国政府等の医薬品・医療機器の安全性に関する措置情報サービス (JAPIC Daily Mail)」No.3722-3741	毎 日	8. 医薬品類似名称検索	随 時
5. 「JAPIC Weekly News」No.566-570	毎週木曜日	9. 効能効果の対応標準病名	月 1 回
6. 「感染症情報 (JAPIC Daily Mail Plus)」No.658-661	毎週月曜日	〈iyakuSearchPlus〉	http://database.japic.or.jp/nw/index
		1. 医薬文献情報プラス	月 1 回
		2. 学会演題情報プラス	月 1 回
		3. JAPIC Daily Mail DB	毎 日
		外部機関から提供しているJAPICデータベース	
		〈株式会社ジー・サーチJDreamⅢから提供〉	http://jdream3.com/
		〈株式会社日本経済新聞社から提供〉	http://telecom.nikkei.co.jp/

JAPIC

医療用医薬品集2017 (CD-ROM付)



- ◆国内流通全医療用医薬品の最新で正確な添付文書情報をお届けします!
- ◆約40年の編集実績による信頼と使いやすさ
- ◆2016年6月後発品まで収録
- ◆類似薬選定のための「薬効別薬剤分類表」と「薬剤識別コード一覧」を収録
- ◆更新情報メールの無料提供(要登録)
- ◆CD-ROM付
- ◆分冊にて製作(ケース入り)

好評発売中!!

B5判 約4,200頁 / 13,000円(+税)

Windows版 CD-ROM収録内容

- ◎医療用医薬品集
- ◎一般用医薬品集
- ◎薬剤識別コード一覧
- ◎薬価情報
- ◎後発品の全情報
- ◎添加物情報
- ◎最新添付文書画像(PDF)の表示機能付
(無料・要インターネット接続。
医療用医薬品は週1回、一般用医薬品は月1回更新)

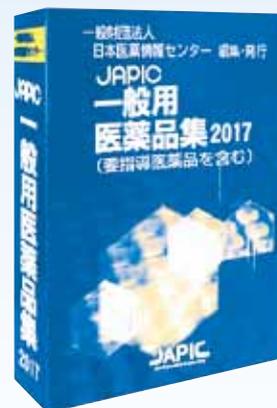
JAPIC

一般用医薬品集2017 (要指導医薬品を含む)

- ◆約40年の編集実績による信頼と使いやすさ
- ◆最新の一般用医薬品添付文書を日本製薬団体連合会の委託を受け収集
- ◆国内流通医薬品をほぼ網羅する11,000製品を収録
「要指導医薬品」(スイッチ直後品目・劇薬等)も掲載
- ◆個々の製品について製造・販売会社、組成、添加物、適応、用法、リスク区分を記載
- ◆付録には、リスク区分情報、ブランド名別成分比較表、国内副作用報告の状況、重篤副作用疾患別対応マニュアル等を収録

好評発売中!!

B5判 約2,000頁 / 9,000円(+税)



一般財団法人 日本医薬情報センター JAPIC 編集・発行 TEL 0120-181-276
丸善出版株式会社 発売 TEL 03-3512-3256

上記書籍の他、電子カルテやオーダリングシステムに搭載可能なJAPIC添付文書関連データベース(添付文書データ及び病名データ)の販売も行っております。データの購入希望もしくはお問い合わせはJAPIC (TEL 0120-181-276) まで。

Garden

このコーナーは薬用植物や身近な植物についてのヒトクチメモです。リフレッシュにどうぞ!!

せいたかあわだちそう

既に1920年頃から日本で記録されている帰化植物で、関西を中心に全国に広まった。10月頃の荒れ地に繁殖しており、花粉症の原因などと噂されるが、風媒花のブタクサなどと異なり虫媒花なので、実際の被害はないようだ。また、根からポリアセチレン系のアレロケミカルを出して、他の植物を凌駕するのは有名だが、ススキとの競合実験ではススキに軍配が上がるそうである。(ky)



JAPICホームページより
http://www.japic.or.jp/

HOME

サービスの紹介

ガーデン

Topページ右下部の「アイコン」からも閲覧できます。